

BA8000 Pro
東京電力：TEPCOひかり
中部電力：commuf@（コミュファ）
接続ガイド

BA8000 Pro

株式会社 エヌ・ティ・ティ エムイー

はじめに

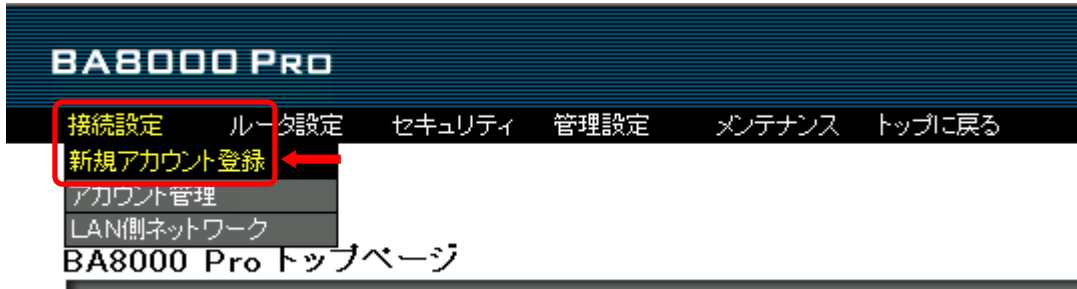
- ・本ガイドは東京電力:TEPCOひかり / 中部電力:commuf@(コミュファ)サービスへの接続方法を説明したものです。
- ・東京電力「TEPCOひかり」サービスについて詳しくは、下記URLをご覧ください。
<http://www.tepco.ne.jp/>
- ・中部電力「commuf@(コミュファ)」サービスについて詳しくは、下記URLをご覧ください。
<http://www.commufa.jp/>

更新履歴

初版 2003 年 6 月 19 日

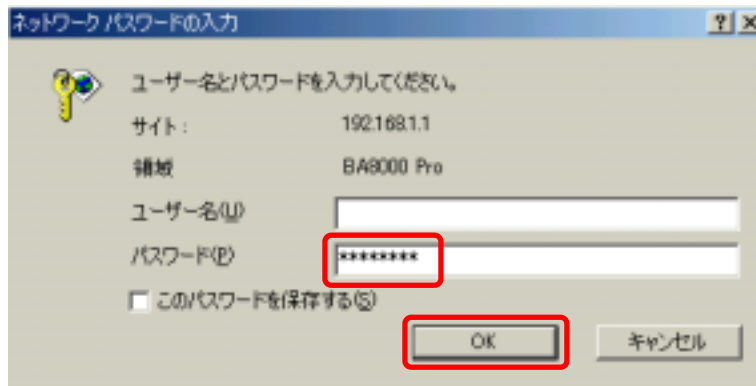
設定手順

1. WebブラウザのURL欄に「http://192.168.1.1/」と入力し「Enter」キーを押します。
BA8000 Pro設定画面のトップページが表示されますので[接続設定]の[新規アカウント登録]を選択して下さい。



ユーザ名/パスワード入力画面が表示されます。パスワード欄に「password」を入力し[OK]ボタンをクリックします。

上記は工場出荷時のパスワードです。パスワードを変更している場合は設定してあるパスワードを入力してください。



2. 新規アカウント登録画面で [接続方法] から [PPPoE接続] を選択し、[次へ] をクリックします。

新規アカウント登録

ブロードバンド接続方式を選択してください。



3. [PPPoE接続設定]の各項目を設定してください。

PPPoE接続設定

PPPoE接続アカウントを登録/修正します。[最大登録数:2アカウント]

| | |
|-------------------|---|
| アカウント名 [任意] | <input type="text" value="tepeco"/> |
| PPPoEユーザ名 | <input type="text" value="ba8000pro@ntt-me.co.jp"/> |
| PPPoEパスワード | <input type="password" value="●●●●●●"/> |
| PPPoEパスワード再入力 | <input type="password" value="●●●●●●"/> |
| PPPoEサービス名 [通常不要] | <input type="text"/> |
| PPP認証方式 | 接続相手にあわせる [推奨] ▼ |
| WAN側IPアドレス設定方法 | 自動取得 ▼ |
| 固定WAN側IPアドレス | <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> |
| DNSサーバアドレス設定方法 | 自動取得 ▼ |
| プライマリDNSサーバアドレス | <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> |
| セカンダリDNSサーバアドレス | <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> . <input type="text"/> |
| MSSサイズ | <input type="text" value="1452"/> byte |

最下段の[設定]ボタンを押してください。
[設定を保存して再起動します。] - [OK]をクリックします。

アカウント名 : 任意のアカウント名を設定してください。

PPPoEユーザ名 : プロバイダから指定されたPPPoE接続ユーザ名を正確に入力してください。
大文字・小文字は別の文字として扱われます。

PPPoEパスワード: プロバイダから指定されたPPPoE接続パスワードを正確に入力してください。
大文字・小文字は別の文字として扱われます。

PPPoEサービス名 : 空欄で結構です。

PPP認証方式 : 通常[接続相手にあわせる]を選択してください。

WAN側IPアドレス設定方法 : 固定IPアドレスの契約をしている場合は[固定設定]、そうでない場合は
[自動取得]を選択してください。

固定WAN側IPアドレス : WAN側IPアドレス設定方法で[固定設定]を選択した場合、プロバイダから指定
されたIPアドレスを設定してください。

DNSサーバアドレス設定方法 : プロバイダからDNSアドレスを指定されている場合、またはローカルに
DNSサーバを設置する場合は[固定設定]を選択してください。

プライマリ/セカンダリDNSアドレス : DNSサーバアドレス[固定設定]を選択にした場合、プライマリ、セカンダリ
DNSアドレスを入力してください。

MSSサイズ : [1452]に変更します。

4. [接続設定]メニューから[アカウント管理]を選択してください。



5. アカウント管理画面の[接続方式の選択]メニューから[PPPoE接続]を選択してください。

接続アカウント管理

使用するブロードバンド接続方式を選択してください。

接続方式の選択

PPPoE接続

引き続き[PPPoE接続アカウントリスト]の各項目を設定して[設定]ボタンを押してください。
[設定を保存して再起動します。] - [OK]をクリックします。

PPPoE接続アカウントリスト



PPPoE接続の状態確認/操作を行います。

| 状態 | アカウント名 | DNSアドレス | セッション | 接続 | アイドル タイム | 操作 | 修/削 |
|----------|--------|---------|-------|----|-------------|----|----------|
| Disabled | teppo | | プライマリ | 自動 | 20 分 | | 修正 削除 |

PPP-Echo-Request送出間隔 60 秒
PPP-Echo-Requestリトライ回数 6 回

設定

やり直し

セッション : プライマリを選択してください。
接続 : 自動、手動、常時から選択してください。
自動----LAN側の端末からインターネットへの通信を検出した際に自動的に接続を開始します。
手動----[接続]ボタンを押したら接続を開始します。
常時----電源投入直後、再起動直後から自動的に接続を開始します。
なんらかの理由によりPPPoEセッションが切断された場合も自動的に再接続します。
(セッションキープアライブ機能)
アイドルタイム : ここで設定した時間通信がない場合自動的に切断します。
0に設定した場合は切断動作は行いません。
その他の設定は通常変更しないでください。

7. [接続設定]メニューから再度[アカウント管理]を選択し、[接続]をクリックしてください。

PPPoE接続アカウントリスト



PPPoE接続の状態確認/操作を行います。

| 状態 | アカウント名 | DNSアドレス | セッション | 接続 | アイドル タイム | 操作 | 修/削 |
|--------------|--------|---------|-------|----|-------------|----------|----------|
| Disconnected | plala | | プライマリ | 自動 | 20 分 | 接続 切断 | 修正 削除 |

PPP-Echo-Request送出間隔 秒

PPP-Echo-Requestリトライ回数 回

設定

やり直し

「PPPoEセッションを確立しました」というメッセージが出て[状態]に“Connected”が表示されれば接続完了です。

接続方式の選択

通常接続アカウントリスト

通常接続の状態確認/操作を行います。

| 状態 | アカウント名 | DNSアドレス | ドメイン名 | DHCP | 修/削 |
|----|--------|---------|-------|------|-----|
|----|--------|---------|-------|------|-----|

PPPoE接続アカウントリスト

PPPoE接続の状態確認/操作を行います。

| 状態 | アカウント名 | DNSアドレス | セッション | 接続 | アイドル タイム | 操作 | 修/削 |
|---|--------|------------------------------|-------|----|-------------|----------|----------|
| Connected [219.164.115.242 218.44.77.195 01-01 00:00:28] | plala | 218.47.162.1 218.47.162.9 | プライマリ | 自動 | 20 分 | 接続 切断 | 修正 削除 |

[状態]に“Connected”が表示されない場合は以下をご確認ください。

“Disabled”と表示される場合

PPPoE接続が無効です。

- ・アカウント管理画面の[接続方式の選択]メニューから[PPPoE接続]を選択しているかご確認ください。
- ・PPPoE接続アカウントリストでセッションにプライマリを選択しているかご確認ください。

“Link Down”と表示される場合

WANポートに接続している機器(ADSLモデム、光回線終端装置)とのリンクが確立されていません。

- ・ケーブルが正しく接続されているかご確認ください。
- ・WANポートに接続している機器の電源が入っていることをご確認ください。
- ・BA8000 ProのWANランプが点灯しない場合WANポートに接続している機器(のLANポート)が故障していないかご確認ください。

“PPPoE:PADI-Timeout”または“PPPoE:PADR-Timeout”と表示される場合

事業者のネットワーク内サーバの故障の可能性があります。

- ・数分時間をおいて再度接続を試みてください。
- ・それでも接続できない場合は、ご契約プロバイダへお問い合わせください。

“PPPoE:Authentication-Failed”または“PPPoE:Authentication-Timeout”と表示される場合

PPPoE接続設定でPPPoE接続ユーザ名、PPPoE接続パスワードが誤って設定されている可能性があります。

正しく設定されているにもかかわらずこのメッセージが表示される場合はプロバイダに登録が完了していることをご確認ください。